

市長から 市民のみなさんへ



山陽小野田市長 白井 博文

15 「市章のデザインが決まりました」と 「総合計画の策定をはじめます」について

あけましておめでとうございます。

市民のみなさんにとって、実りある 2006 年になりますよう祈念申し上げます。

激動の 2005 年が終わり、まさに“正念場”ともいえる 2006 年がはじまりました。早速、今年最初の大仕事として、平成 18 年度の予算編成作業が待ち受けています。同時に、予想される今後数年間の財政危機に対処するための方策も、長期的な視野をもってまとめ上げなければなりません。相当困難な作業になるでしょうが、行財政改革の成果を反映させ、まさに不退転の決意で臨む覚悟です。

その財政危機打開の見通しの立つ 3 月、山陽小野田市は合併 1 周年の日を迎えます。そこで、3 月 21 日の祝日に、何か記念のイベントができないかと、現在、企画をしているところです。お金をかけずに、市民みんなで楽しめるイベントにしたいと考えています。詳細が決まり次第、広報等でお知らせします。

今年の明るい話題としては、他にもまだまだあるのですが、その中でも教育関係での大きな目玉事業に“生活改善・学力向上プロジェクト”計画があります。これは、幼児から中学生までの子どもの生活環境を整えることにより、心も体も元気な子どもを育てていくというものです。その取り組みの一環として、“百マス計算”でおなじみの陰山先生と市内の学校との連携を行い、教室での学力向上と、家庭での生活習慣の改善を並行してすすめていきたいと考えています。年明けから陰山先生とともに準備をはじめ、実際には 2 学期から取り組んでいく予定です。まちの発展は“人づくり”、“人づくり”は教育からと私は常々考えています。本市の多くの児童・生徒が生き生きとした顔で、自信をもって学校生活を送り、自分の将来に明るい希望をもって欲しいという、江澤教育長と私の強い願いから実現した事業です。

その他、7 月には県立サッカー場のオープン、11 月には国民文化祭の開催など、ワクワクするようなイベントも目白押しです。全国から多くの人が山陽小野田市を訪れ、まちが大いににぎわう 1 年になることでしょう。

市章のデザインが決まりました

12 月 8 日まで行った市章投票に多くの

方にご応募いただき、ありがとうございました。表紙でご紹介したとおり、宇部市の小川幸三さんの作品が最も多くの支持を得ましたので、市章のデザインとして決定します。「山陽」と「小野田」の 2 つのまちががっちりと手を結んでいる作品のイメージが決め手になったのかもしれない。選定作業に至るまで、いろいろないきさつがありましたが、こうして「山陽小野田市のシンボルです」と胸を張って言える作品が選ばれたことをとてもうれしく思います。これから市旗、封筒など市民のみなさんもあちらこちらで目にする機会があることでしょう。ぜひともこのデザインに、愛着をもって親しんでいただければと思います。

みなさんの夢を持ち寄って 総合計画の策定をはじめます

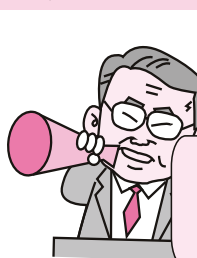
「総合計画」の策定によいよ着手するのですが、みなさんにとって耳慣れないこの用語について、少し説明させていただきます。

まず何を“計画”するかということですが、それは簡単に言えば、「10 年後のすみよい山陽小野田市をつくること」になります。また、大きく分けて 3 つの計画から成り立っていて、10 年後のまちの姿を計画する「基本構想」と 5・3 年の中期的視野で見直していく「基本計画」「実施計画」とあるのですが、その総称を「総合計画」と呼んでいるのです。

言い換えるならば、3・5・10 年後にわがまち「山陽小野田」をどんなまちにしていくのかという将来像を計画する壮大な作業といえるかもしれません。もちろん、“夢”を“夢”で終わらせてはいけませんので、実際には、限られた財源の中で費用対効果や地域性などを照らし合わせながら、公共施設の建設やその活用方法について、優先順位をつけ計画書に落とし込んでいくことになります。

また、今回、その“夢”をまず最初に、市民のみなさんに持ち寄ってもらおうということで策定の第一段階で、まちづくり市民会議「総合計画」部会を設置することにしました。と同時に、幅広い層の方々からも意見をいただくために、市民アンケートも行うことにしました。該当のご家庭には 1 月中旬にアンケート用紙が届きます。お忙しい中、申し訳ありませんがご協力をお願いします。

10 年後に暮らしている人へ、夢がいっぱいつまったまちをプレゼントしてみませんか。そのまちの“設計図”づくりに、市民のみなさんの積極的な参加を期待します。



**1月の
市政説明会**

1月 8日(日) 埴生公民館
1月 22日(日) 高泊公民館

※19:00から 1時間30分程度です



**1・2月の
対話の日**

1月 26日(木) 津布田会館
2月 23日(木) 赤崎福祉会館

※19:00から 1時間30分程度です